

音楽の世界で今何が起きている??

阿部 竜之介 『Pepeの視点』

February / 14 / 2014 # 11

---

Trombone & Euphonium奏者の阿部竜之介(Pepe)です。

このメールマガジンでは、僕から見た今の音楽の世界で起きていること、また演奏に関するヒントなどをお届けしていきます。

またメルマガ内でもいろいろな質問に答えていこうと思っていますので、どんどん質問してきてくださいね！

---

## INDEX

- [1] 旬な話題、気になる話題  
『ブラスバンド』
  - [2] Pepeのひとりごと  
『濃淡の気づき』
  - [3] おすすめ動画 Trombone Ensemble  
『Year of the Dragon』  
『The Carnival of Venice - Håkan Björkman -  
Stockholm Brass Band』
  - [4] 演奏のヒント！  
『録音、録画をしてみよう』
  - [5] 編集後記
- 

- [1] 旬な話題、気になる話題

『ブラスバンド』

ブラスバンド。

日本では吹奏楽のことも意味する単語で、吹奏楽部のことをブラスバンド部ということもあって定着してしまっていますが、実はブラスバンドとは本来「英国式金管バンド（ブリティッシュ・ブラスバンド）」のことを意味します。

簡単に言うと、ブラスバンドとは金管楽器と打楽器で編成されるものです（詳しく知りたい方は「英国式ブラスバンド」などで検索して調べてみてくださいね）。

詳しい説明はここでは省きますが、クラリネットを吹いていた人が、アメリカやヨーロッパへ行って現地の友人たちと話すときに「僕、中学と高校の時はブラスバンドでクラリネットを吹いていたんだ」という説明は「???'となるということです（笑）。

僕は2008年から四国で唯一となるブラスバンド、ブラスバンド「キャメリア」の音楽監督と指揮をやらせて頂いています。

ちょうどその頃から、元祖のイギリスのみでなく、フランスをはじめヨーロッパ各地でブラスバンドがとても盛んになってきました。アメリカでも近年増えてきたように僕は感じています。

先月末、ブラスバンド「キャメリア」の第9回定期演奏会を無事に終えることができました。

2008年からコツコツとコンサートに向けながらと同時にバンド全体のレベルアップに取り組み、毎年少しずつ課題を持ちながらやってきました。

そして今年のコンサートでは、バンドの成長を感じる瞬間が今までに比べても多くあったので、とても嬉しかったです！

もちろん毎年コンサートのプログラムは違うので一概に「成長した！」とは言い切れないところはありますが（笑）、確実に何か手応えがありました。

吹奏楽と違い、ブラスバンドの中での金管楽器はスタミナ、テクニック共に桁外れに必要になってきます。

（近年、日本の音楽大学でもブラスバンドが盛んに行われるようになってきました。これは、各個人のテクニックやスタミナ向上にもすごく役立つと思うので、とてもいいことだと思っています）

ブラスバンド「キャメリア」に関しても、スタミナとテクニックにおいては少しずつ安定してきたように感じています。

楽器の練習や上達に共通して言えることだと思うのですが、これらのことは、残念ながらやったからといってすぐによくなるものばかりではありません。

コツコツと根気よく継続することがとても重要になってきます。

この積み重ねがいつ音や演奏に表れるのかは誰にもわからないこと

なのですが、それを少しでも感じる事ができると、またその前へ向かってのエネルギーが湧いてきます。

早くできたほうなのか、時間がかかったほうなのかはわかりませんが、今年のコンサートではいい意味での感触を感じる事ができたので、これからの活動に対する期待や挑戦する気持ちはすごく高くなりました。

これからも欲張りすぎず、でも常に背伸びをした状態で前に向かって突き進んでいきたいと思います！

もしみなさんの周りにブラスバンドがあるのなら、機会があればぜひ一度その中で演奏してみてください！

きっと今まで知らなかった楽しい世界があるでしょう。：)

自身のレベルアップにも必ず役に立ちますよ！

P.S.

吹奏楽のことをブラスバンドと言っていた人、これからは吹奏楽とは区別して「ブラスバンド」という単語をつかっていきましょう！！

## [2] Pepeのひとりごと

### 『濃淡の気づき』

最近、レッスン現場で「濃淡」を感じる事が多くあります。以前からも同じようであって、もしかすると僕が最近敏感になってるだけかもしれませんが、僕の感覚からすると、気になり始めたのは最近です。

その濃淡とは、生徒たちと、生徒たちを含める現場での意識の中のことです。要するに、日頃の練習内容の濃淡、厳しさの差ですね。

最近の僕の吹奏楽のレッスンは中、高校生が多いので、日によっての濃淡も大きく影響している部分もあると思います。

人間は不完全なものなので、濃淡があるのはいいんです。

僕が残念だと思うことは、それに「気づいていない」ということ。

これらのことに気づいていないと、だらだらしているのに頑張っていると思いきや、思いこんでしまいます。

これが厄介なんですよねぇ。

何が厄介かって、がんばってやっていたのに本番でいい演奏ができなかった、とか、こんなに頑張っているのに全くできるようにならない、結果がついてこない、といって落ち込むことになってしまうからなんです（涙）。

もっと大変なのは、責任感が強すぎて自分を責めてしまう場合。  
この場合、思うことを伝えたとしても普通の慰めに聞こえる可能性が高くなってしまい、真意がなかなか伝わりにくくなってしまいます。

うまくいかなかった時の自分を責めるのではなく、今後の練習中の自分に向かって厳しいゲキを飛ばすような責め方（攻め方？笑）をしてもらいたいと思います。

大切なのは、そういう経験から得た反省を今後どのように活かすのかを真剣に考えることなのですから。

（いつもではなくていいので）客観的に自分の演奏や日頃の練習に向かう姿勢などを見ることができていれば、これらはかなり改善できることだと思っています。もしくは、常にそばにいて厳しく自分に意見してくれる人がいる環境を作る努力をしてみるのもいいでしょう。

もちろん、こういうことを客観的に見て指摘するのも僕たち指導者の役割ではありますが、毎回毎回、その都度その都度言っているようでは、指導者がいなくなったとたんにその生徒たちはダメになってしまいます。そういう意味では、いつも近くに自分に厳しく接してくれる友人や先輩がいる環境はいい環境だと言えますね（本人にとっては嫌かもしれませんが、笑）。

気持ちの中にある「やる気」＝実際に頑張っている内容の充実度  
「ではない」ことを知っておくことが、とても重要だと思います。

自分自身も含め、みんなでもう一度この辺りを見直してがんばっていきましょうね。

濃い内容で濃い時間を過ごそう！！ :D

### [3] おすすめ動画

『Year of the Dragon』

<http://www.youtube.com/watch?v=X6-76ep0XfM>

ブラスバンドのことを書いたので、ブラスバンドの演奏を紹介しますね。  
去年ブラスバンド「キャメリア」でチャレンジした曲、P.Sparke作曲の「ドラゴンの年」です（これはオランダのブラスバンドの演奏です）。  
吹奏楽版もあるので、吹奏楽で聴いたことある人もいるかもしれませんね。  
このブラスバンド版がオリジナルなんですよ。  
とても難しい曲の一つです（汗）。

『The Carnival of Venice - Håkan Björkman - Stockholm Brass Band』  
<http://www.youtube.com/watch?v=X9XRqUUCEWc>

これはスウェーデンの友人、Håkanのソロ演奏(Trombone)なのですが、伴奏がブラスバンドです。なんと、あの「ヴェニスの大肉祭変奏曲」をTromboneで演奏しています。

これはCDのレコーディング風景なのですが、このCDの中にブラスバンドでの「ドラゴンの年」も収録されています。

興味のある人はぜひ買って聴いてみてくださいね！！

#### [4] 演奏のヒント！

『録音、録画をしてみよう』

みなさん、自分の練習や演奏の録音や録画を聴いたことはありますか？自分の声を録音や録画を通して聞くと変な感じがするのと同様、自分の楽器演奏の音も変な感じがすると思います。

はじめは嫌な感じがするかもしれませんが、続けているとすぐに慣れてきますので（笑）、ぜひやったことない人は自分の演奏を録音（録画）して聴いてみてください。

自分の演奏と言っても、コンサートである必要は全くありません（というか、コンサートこそ聴いてみるのは後回しでいいです。笑）。

曲ではなく自分のいつもの練習こそ、ぜひ頻繁に、かつ客観的に聴いてみてくださいね。

ロングトーンでも音階でもリップスラーでも、なんでもいいんです。曲をコツコツ練習しているところでもいいんですよ。

そうすると、まずみなさんは自分の音色についてそれぞれ思い思いの感想をもつと思います。

思っていたとおりの感想だったり、意外と〇〇なんだなあ、とだったり（笑）。

でもそれでいいんです！

そういうことを繰り返して、音色に関する研究もさらに深くなっていくんです。

さらにそれらを続けていくと、きっと自分の演奏にある「クセ」に気づいてくると思います。

ミスの仕方（例えば音の外し方）にもいろいろとあるのですが、自分がやってしまっている「ミスを起こすクセ」があつたりするんですよ。

そして、録音や録画を頻繁にチェックしていると、それらが少しずつ見えてきたり（わかってきたり）します。  
それらがわかると、音を外さないようにするために必要なことが意外とわかったりしますよ。

・・・このように書いても、やったことのない人にはサッパリの内容だと思うので（笑）、まずはぜひ試してみてください。  
その上で疑問に思うことが出てきたら、気軽にメールで質問してきてくださいね！ :)

---

#### 編集後記

今年度担当させていただいていた音楽月刊誌「バンド・ジャーナル」の「ワンポイントレッスン（ユーフォニアム）」の連載がついに終わりました（まだ最終回の号は発売されていませんが=3月10日発売予定=、原稿はもう書いて提出しています）。

今になって思うと、あっという間の1年でした。  
最後の原稿を書いていると、思った以上に悲しくなりました（笑）。  
思った以上に大変ではあったけど、そのおかげでこのメルマガを発行する決心もできましたし、本当に感謝しています（笑）。

みなさん、見てくれていますか？  
バックナンバーも注文できるので、ぜひ見たことない人は、1年分買ってみてくださいね！ :)

実は、このメルマガに関して次号（来月）かその次の号からやってみようかと考えていることがあります。  
もう少し自分の中で考えてみますが、また新しいことに少しでいいので期待しててくださいね！

たくさんの人に少しでも役に立つことを発信していきたいと思っています！  
これからもお願いしますね！

---

阿部 竜之介(Pepe) オフィシャルウェブサイト

<http://www.pepeabe.com>

ご意見、感想、質問などはメールでどうぞ！

[info@pepeabe.com](mailto:info@pepeabe.com)